

講義名	英語で学ぶ経済					授業形態	
担当教員	森脇 丈子		開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5 時限			
	単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	ECN285	

主題と概要

この授業は、新しい英語教材を使用して経済（学）の基本概念を習得することを目的としています。経済活動のグローバル化に伴い、わたしたちが英語に接する機会は増えています。ビジネスの現場でも英文資料を活用し、英語でプレゼンや交渉できる人材が求められています。この授業では、経済（学）の基本概念や日本経済・世界経済の潮流を英文の教科書を読みながら理解し知見を高めていきます。授業の前半では、学生にテキストを朗読してもらったり、教員から重要語句の補足説明を行ったりします。また、受講生同士でディスカッションをしてもらいますので、各人の積極的参加が期待されます。

* 授業の後半は、教員が教科書の内容や関連事項を説明したり、受講者に身の回りの経済事象についての意見を求めます（授業での使用言語は、基本的に日本語です）。

到達目標

1. テキストに出てくる経済(学)に関連する基本的な用語を理解することができる。
2. 経済(学)に関連する幅広い知識を身につけ、それを活用して時事的な経済問題を理解することができる。
3. 理解した内容に基づき、他者と議論できるようになる。
4. 経済（学）で頻繁に登場する用語を英語で理解できるようになり、さらに、英字新聞の平易な経済記事や英語ウェブサイトの経済情報を読んで必要な情報を集められるようになる。

提出課題

- ・復習を兼ねた簡単な課題をほぼ毎回の授業で出します。教科書だけでは物足りない場合には、英字新聞の経済・ビジネス記事に関連した課題を課す場合もあります。
- ・また、この授業では予習・復習を重視します。各受講者の予習・復習の成果を示す資料（自筆ノートなど）を期末に提出してもらう予定です。
- ・期末には、レポート課題を提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・提出された課題については、授業内でコメントします。

評価の基準

1. 宿題に基づく発表と発言（60点）
 2. 課題提出とプレゼンテーション（40点）
 3. 上記1.と2.の合計で60点以上が合格です。59点以下は、不合格です。宿題にしっかりと取り組むと発言しやすくなり、発言での得点を得られますので、授業の準備をしてから出席してください。
- ・優れた発言・発表や質の高いレポートに対しては、満点を超えて加點評価することがあります。
 - ・毎回出席を確認します。5回以上欠席すると単位修得はできません。

履修にあたっての注意・助言他

- ・各受講生の予習が授業の前提となります。予習の時間確保が難しい学生の履修はお勧めしません。
- ・この授業の目的は経済（学）の理解にありますので、授業では教科書の英文解釈に関する文法的な説明などは行いません（各自で補完することになります）。教科書には日本語訳が付されていますが、正確に読解するには英検2級レベルの英語力が必要で（十分な英語力がないと苦勞することになります）。
- ・英語力向上を第1の目標にしたい学生には、この授業よりも、語学系科目の履修を推奨します（担当教員の専門は英語教育ではないので、英語力向上のための十分な指導はできません）。
- ・特別な理由のない大幅な遅刻や途中退室は欠席扱いとします。
- ・わからない点はスマホを検索するよりも教員に質問する方が効果的です（質問力も高まります）。質問等で発言が必要な場合は挙手の上で行ってください。

教科書

・新版 英語対訳で読む「経済」入門.	大島剛樹（監修）・Elizabeth Mills（英文監訳）	実業之日本社	1,100	9784408339504

参考図書

・なし.				

その他

- ・授業内容の補足説明用に、担当教員が作成した資料（PDFファイル）をキャンパス・クロス経由で毎回配布します（受講人数によっては教室での配布に変更する場合があります）。
- ・参考図書は授業中に適宜紹介します。

授業計画

- 第1回 ガイダンス： 授業の進め方について、簡単な経済用語についての説明
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第2回 Chapter 1: Fundamental Japanese Economy (1) [1~5]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第3回 Chapter 1: Fundamental Japanese Economy (2) [8~12, 16]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第4回 Chapter 1: Fundamental Japanese Economy (3) [6~7, 15~17]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第5回 Chapter 2: Government and Economy (1) [18~22]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第6回 Chapter 2: Government and Economy (2) [23~27]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第7回 Chapter 3: Companies and Economy (28~35)
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第8回 Chapter 4: Finance and Economy (1) [34~38]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第9回 Chapter 4: Finance and Economy (2) [39~43]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第10回 Chapter 4: Finance and Economy (3) [44~48]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第11回 Chapter 5: World Economy (1) [49~53]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第12回 Chapter 5: World Economy (2) [54~58]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第13回 Chapter 5: World Economy (3) [64~67]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第14回 Chapter 5: World Economy (4) [59~63]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
- 第15回 Chapter 6: History of Japanese Economy [78~82]
毎回の授業の配布資料の最後、もしくは、キャンパスクロスに、復習を提示します。レポート課題の作成にむけて、準備してください（2時間程度）。

[] 中の数字は、教科書中の Episode の番号を表します。
授業の進捗状況により授業計画を変更する可能性があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（Aし型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の「到達目標」を達成することで、経済学の基本的知識を身につけて時事問題を理解することができるようになり、さらに、経済問題を中心に、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題や解決策を提案することができるようになります。

これは、経済学部経済学科の学生が卒業時に獲得しておくべき資質・能力である。人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基盤を身につけ、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察して課題を提案したり、世の中の動きを理解して、経済問題を中心に現代社会の諸問題に解決策を提案したりすることができる能力が備わることにつながります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・各人の予習をもとに英語文の日本語訳をしてもらい、その後、受講生とともに議論をします。

実務経験の有無及び活用

備考

大学の提示にしたいが、感染予防に努めてください。
第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。
授業ではスマホをもって、理解を深めてください(スマホによるPTT等の撮影は禁止します)。
正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
授業中の私語や教室への勝手な出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。